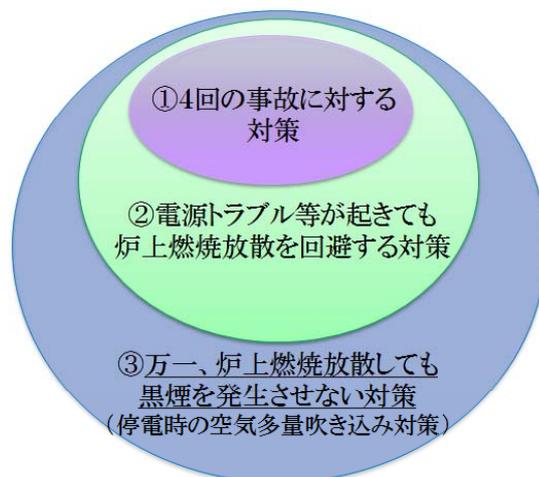


1. 停電時を想定した設備とその試運転の位置づけ

- ・名古屋製鉄所においては、停電事故時にコークス炉から黒煙を発生させない「3重の対策」(右図参照)を実行中です。
- ・このうち対策③は、コークス炉ガスの燃焼放散時に、ガスの完全燃焼を促進させる多量の空気を燃焼放散塔に吹き込む為に必要な蒸気を、停電時にも供給出来るようにするため、小型ボイラー(蒸気発生装置)とそれを稼働させる非常用発電機を設置するものです。
- ・この蒸気供給対策工事が2014年11月に完工し、対策の準備が概ね整いました。
- ・つきましては、今後、本設備がより確実に機能発揮できる準備をすることを目的として、設備の健全性を確認する試運転を以下のとおり実施いたします。

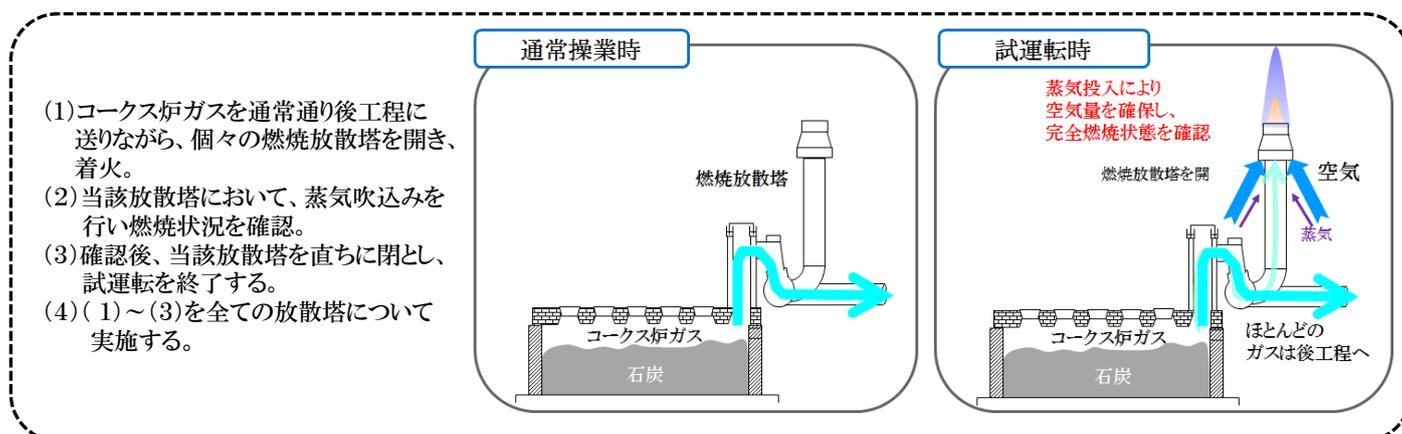


(参照)3重の対策詳細

http://www.nssmc.com/news/20141125_200.html

2. 試運転の内容

- ・設備の試運転を各コークス炉・燃焼放散塔ごとに実施し、全対象設備が健全に作動することを確認いたします。
- ・試運転では、燃焼放散時の黒煙発生が最小限となるような運転条件を確認いたします。
- ・試運転中は燃焼放散塔から炎が出ます。黒煙については状況監視を万全に行い、異常時は即時に試運転を中止する等、適切な対応をいたします。
- ・試運転の所要時間は1回あたり、数分～数十分間です。



- (1)コークス炉ガスを通常通り後工程に送りながら、個々の燃焼放散塔を開き、着火。
- (2)当該放散塔において、蒸気吹き込みを行い燃焼状況を確認。
- (3)確認後、当該放散塔を直ちに閉じ、試運転を終了する。
- (4)(1)～(3)を全ての放散塔について実施する。

3. 試運転の実施スケジュール(2月中旬より開始)

- ・試運転は本年2月中旬より開始し、約1.5ヶ月の間、週に数日の頻度で実施いたします。
- ・詳細な実施スケジュールにつきましては、「新日鐵住金名古屋製鉄所」ホームページに掲載してまいります。
(名古屋製鉄所HP: <http://www.nssmc.com/works/nagoya/index.html>)

試運転の実施にあたりましては、安全・環境・防災面において万全の体制で進めてまいりますので、地域の皆様のご理解を何卒よろしくお願い申し上げます。

当社は、一連の事故を真摯に反省し、地域の皆様からの信頼回復に向け、全力で再発防止に取り組んでまいります。その上で、ものづくりを通じて、地域・社会の発展に貢献するという社の経営理念の下、一丸となって努力してまいります。